

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Albirex-RT

CAR No.34

2014/6/23

CAR No.35

MOTOR FREAK

スーパーFJ 富士シリーズ 第 3 戦

Beyond

草野貴哉

長谷川綾哉

アルビモーターフリーク GIA

アルビ開志高校ビヨンド EDKK-S

CAR No.36

CAR No.37

M.I.D Japan Inc.
Mitsui Impress Development

MAKE WINNER

神村悠太

大久保一成

アルビ RT 玉三郎 M's 岩本 10V

アルビメーカーウィナー-K-WindsED

6月21日(土) 予選 6月22日(日) 決勝

富士スピードウェイ 1 LAP=4.563km 出走: 14 台

予選結果: 神村選手 3 位 大久保選手 8 位 長谷川選手 11 位 草野選手 12 位

決勝結果: **神村選手優勝** **大久保選手 5 位入賞** 長谷川選手 8 位 草野選手 9 位

神村選手が予選 3 位から自身初優勝!!



■6月21日（土） 9時48分予選スタート

天候：曇り コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：70% 路温：32℃

予選開始後しばらくは1ラップごとにトップが入れ替わる展開が続くが、予選も半分が経過したところに堤選手がトップに立つと、その後に8番手タイムだった神村選手が自身のタイムを0.8秒詰めて一気にトップに浮上する。残り約3分というところで、赤堀選手がトップに立ったが、すぐに今井選手がタイムを更新しトップに立つと、最後のアタックで2番手赤堀選手、3番手神村選手がタイム更新ならず、今井選手がポールポジションを獲得した。

大久保選手は8番手、長谷川選手、草野選手がそれぞれ11、12番グリッドを獲得した。

■6月22日（日） 9時48分決勝スタート

天候：雨 コース：ウェット 気温：20℃ 湿度：70% 路温：22℃

3番手スタートの神村選手が好スタート。1コーナーまでに2番手スタートの赤堀選手の横に並ぶと、イン側についた赤堀選手と並んで2コーナー～コカコーラコーナーへと向かうも、パスするには至らない。逆にその隙を突かれコカコーラコーナー立ち上がりで4位に後退してしまう。一方でポールスタートの今井選手は、ストレートで水しぶきをあげながら早くも2番手以降を引き離し始める。

2周目に入るとトップの今井選手と、やや遅れた2～5位の集団と、6～9位の中団グループとに分かれる格好となり、それぞれのグループでバトルが展開される。3周目、堤選手との2位争いから赤堀選手が抜け出すと、今度は堤選手と神村選手がテールトゥノーズでの3位争いに。すぐ後ろには倉富選手、そして中団グループから抜け出した大久保選手も接近してくる。

4周目のダンロップコーナー進入、4番手神村選手は外から3番手堤選手の横に並んでブレーキング勝負。しかしここでは堤選手がポジションを守る。

いったんは引いた神村選手だったが、4周目の最終コーナー立ち上がりで堤選手の後ろにピッタリつくと、スリップストリームを利用しホームストレートで外から堤選手の真横に並んで1コーナーへ。進入ではインを抑えた堤選手だったが、クリップを空けてしまったところを神村選手が入り込み、立ち上がりで神村選手が3番手に浮上する。このバトルの間に6番手の大久保選手も2～5位集団に追いついてきた。

3番手に浮上した神村選手は徐々に2番手赤堀選手との差を詰めてバトルになる一方、プリウスコーナーで5番手を走っていた倉持選手が痛恨のスピン。後ろを走っていた大久保選手が難なく5番手に浮上する。

そして6周目、ホームストレートを立ち上がった3番手神村選手はスリップを利用し1

コーナーまでに赤堀選手をかわし 2 位に浮上、7 周目にはレース中のファステストをマークする速さでトップの今井選手を追いかける。

8 周目、完全にトップの今井選手をとらえた神村選手は、ダンロップコーナー進入で仕掛けるも、ここは今井選手が踏ん張りトップをキープする。

そして迎えた最終コーナー立ち上がりで、先ほどパスした時と同じように神村選手がトップの今井選手の真後ろにつけホームストレートへ。ここでスリップを利用し神村選手が今井選手の横に並び、コントロールライン付近でついにトップに浮上する。しかしかわされた今井選手もすぐさま神村選手のスリップに入り車速を上げると、半車身ほど右後ろに並んで 1 コーナーにサイドバイサイドで進入していく。しかしここは神村選手が上回り、立ち上がりで完全にトップに立つ。トップに立った直後はかわした今井選手に攻められる場面もあった神村選手だったが、すぐに引き離していき差を広げると、最後には 4.7 秒の差をつけて嬉しい自身初優勝を飾った。

3 位争いはしばらく堤選手、赤堀選手、大久保選手の 3 台でのバトルが続いたが、9 周目に堤選手が赤堀選手をかわして 3 位に浮上して抜け出すと、4 番手赤堀選手と 5 番手大久保選手のバトルへ。11 周目、再三プレッシャーをかけてきた大久保選手が 100R でインからオーバーテイクし 4 位に浮上する。しかし、ファイナルラップで大久保選手がミスからオーバーランしてしまい再び赤堀選手が 4 位に浮上、そのまま赤堀選手 4 位、大久保選手 5 位でチェッカーを受けた。

長谷川選手は 7 位に 0.033 秒差で 8 位、草野選手は 9 位でレースを終えた。

○草野選手コメント

予選、決勝で焦ってしまい、自分の思うような走りができませんでした。次回は冷静になり、その場に合った走りができるようにしたいです。

○長谷川選手コメント

結果はまだまだですが、少しずつ手ごたえは掴めてきているので、継続して努力していきたいです。

○神村選手コメント

スタートして 1 コーナーで今日は勝てると思い、余計なミスをしないう 1 コーナーだけで勝負しようと決めていました。狙い通りにオーバーテイクし優勝できて嬉しいです。これを継続できるよう次のレースでも勝ちたいです。

○大久保選手コメント

タイム的にも全体で 2 番手を出していたので、要所要所でのミスが痛かったです。表彰台に立てる力は十分あると思うので、次は結果に結びつけていきたいです。

○中村監督コメント

富士シリーズ第3戦について、長谷川選手は予選から果敢にアタックをかけていましたが、まだ3戦目ということで課題もたくさん見え、今後の成長が期待されます。

草野選手は、1戦目2戦目と精神的にかなり追い込まれた感があり、今回は楽しんで走るよう心掛けてもらいました。もう一度レースの楽しさを再認識できた様子で、伸びしろ的にはまだまだあるので今後に期待します。

大久保選手は速さはあるものの結果に結びつかず、レースの全体的な視野の広さを会得できれば十二分にトップ争いができると思います。

神村選手は今回フリー走行よりいい流れをつかんでいた模様で、土曜日のドライの予選から、日曜日のウェットになる状況の変化にも完璧に対応できたと思います。自身初優勝でチーム全員が非常にうれしく思いました。今後シリーズに向けて努力を続けてほしいと思います。大久保選手、神村選手については速さと強さがみられるようになってきたので上位独占を目指して今後も頑張ります。今後とも応援の程よろしくお願い致します。







 Nankai Plus.Co.,LTD.
 



















- Zip Auto • KAISHIN AUTO • 榎本自動車整備工場 • 山田モーター
- 東栄ボディー • Car Factory 雅美 • 堀モータース • みがき屋エンマ
- Power Station • カイツ自動車 • トップオート • エムズ